※令和４年度以降入学生用

学校番号	２２０１

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	国語表現①	単位数	２	年次	２～４
使用教科書	「国語表現」　（大修館書店）国表７０１						
副教材等	「国語表現　基礎練習ノート」（大修館書店）国表７０１						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てよう。俳句、短歌、詩歌、小説、意見文を創作して、自分の作品をデコレーションして展示することで、お互いの作品を評価し合い、楽しみながら学びあう。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

（１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

（２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	接続表現・同音異義語・同君異義語・小論文の基本的な書き方、対立する意見を考慮しながら書く方法、文章の要約方法と引用の仕方について知っている。あいまいな文・長すぎる文・読点・敬語・短歌・俳句の基本的な約束事の知識を理解する。原稿用紙の使い方、推敲の観点を理解する。	小論文の基本的な書き方、対立する意見を考慮しながら書く方法、文章の要約方法と引用の仕方を効果的に用いることができる。わかりやすい文、整った文を書くために大切なことを理解する。接続表現に工夫して構成を作り文章を書く。場面にふさわしい言葉遣いを考える。質問に対して、具体的で説得力のある答え方をする。建設的な質問の仕方を理解する。	推敲が重ねられ、完成度の高い作品が出来上がるまで、関係する出来事を調査し分析し、思考を練り直した跡が見られる。オリジナルの作品が、独創的な構想のもとに完成できている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
4月・5月	1　言葉と出会う ［教材］ 言葉と表記 整った文を書く 相手に応じた言葉遣い わかりやすい文を書く 文のつなぎ方	a: 主述の関係、副詞の呼応、文末表現の統一、話し言葉と書き言葉の違いなど、分かりやすい文、整った文を書くために大切なこと、接続詞の使用方法を知っている。 ｂ:[書]主述の関係、副詞の呼応、文末表現の統一、話し言葉と書き言葉の違いなど、分かりやすい文、整った文を書くために大切なことを理解し、活用できる。 ｃ: 整った文、分かりやすい文を書くために大切なことを理解しようとしてワークシートに取り組み、解答をみて、間違いを訂正した。	テスト	テスト	ワークシート 小テスト 「国語表現基礎練習ノート」
6月	３　小論文･レポート入門 ［教材］小論文とは何か 反論を想定して書く 文章を読み取って書く 縦書き原稿用紙の書き方	ａ：小論文の基本的な書き方、対立する意見を考慮しながら書く方法、文章の要約方法と引用の仕方について知っている。 ｂ：[書]小論文の基本的な書き方、対立する意見を考慮しながら書く方法、文章の要約方法と引用の仕方について活用できる。 ｃ：小論文・レポートを書くためにワークシートに取り組み、解答をみて間違いを訂正できる。	テスト	テスト	ワークシート 小テスト 「国語表現基礎練習ノート」
7月	5メディアを駆使する ［教材］通信文を書き分ける 参考　手紙のいろいろ	ａ：・さまざまな通信文の形式を知っている相手や目的に応じた通信文の選択方法について知っている。手紙の基本的な形式について知っている。改まった通信文での言葉遣いができる。 ｂ：[書]相手や目的に応じて適切な形式を選び、通信文を書くことができる。 ｃ：はがき、便せんなどを用いて手紙文を創作し、仕上げることができる。	テスト	テスト	ワークシート 小テスト 「国語表現基礎練習ノート」
7月・9月	４　自己 PR と面接 ［教材］自分をみつめて 効果的な自己 PR 将来の自分を考えよう 志望理由を書こう 自己推薦書や学修計画書を書く 履歴書の書き方 面接にチャレンジ	ａ：　くだけた表現を改まった言葉に直せる。漢語を積極的に用いる。適切に敬語を用いることができる。 ｂ：[話、書]短所を長所に書き直すことができる。進学・就職それぞれに応じて、確認しておく内容を、知っておきたい内容を調べることができる。オリジナルの自己 PR を創作した。 ｃ:自己を客観視してオリジナルのワークシートを完成させた。自己 PR の構成メモを完成させることができた。業界と職業について調べることができた。志望理由を調べたことをもとに書くことができる。	テスト	テスト 小テスト	ワークシート 「国語表現基礎練習ノート」

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　１０　）時間

・書くこと　…　（　２５　）時間

・読むこと　…　（　　）時間